



▲ベビーシートなどを兼ね備える多機能トイレ



▲完成したエレベーターを使用する利用者



▲バリアフリー化事業完成式典

● Interview

函南駅駅長の声

「皆さんに愛される駅へ」

1934年（昭和9年）、丹那トンネルの開通とともに、函南駅は開業しました。今年、丹那トンネル開通・函南駅開業80周年の節目の年です。

この節目の年にバリアフリー化事業が完成し、とても喜ばしく感じます。

このバリアフリー化事業は、国をはじめ、静岡県、函南町、そしてJR東海が一体となって進めてまいりました。

駅というのは、多くの人が交わる場所であり、その地域の玄関口でもあります。これから、町民の皆さん・利用者の皆さんに愛される函南駅・親しまれる函南駅にしていきたいと思っています。



JR 函南駅長 笹瀬正義

● Interview

エレベーター利用者の声



二葉幼稚園に通う園児と保護者たち
(平成26年3月現在)

今までは、ベビーカーと子どもを抱えて階段を上り降りしていました。特に買い物をした後は荷物もあり重くてとても大変な思いをしました。

今回エレベーター・多機能トイレが設置され、子育て世代の人たちにとって、とても便利に利用しやすい駅になったと思います。



藤原さん家族

今までは、バリアフリー化がされていなかったため、函南駅を1度も利用したことがなく、横浜・東京、関西方面へ行く際も三島駅経由で行っていました。

エレベーターができて、時間の短縮にもなるので、これからはぜひ函南駅を利用していきたいと思っています。

「新しい函南駅へのリニューアル」
80年後の現在

函南駅が開業して80年を迎え、住民・利用者などの約10年前からの要望が実現しました。子育て世代からお年寄りまで、どなたにも利用しやすい駅へとリニューアルされました。



約10年前からの要望が実現

住民・利用者の皆さんの長年の要望が実現し、函南駅開業80年を迎える2014年（平成26年）に、「函南駅のバリアフリー化事業」が完成しました。

同駅の1日平均乗車数は約4000人でした。（2012年度利用者数）今までは、駅のバリアフリー化事業が国の補助対象になるのは、1日平均約5000人以上の利用が必要でした。しかし、平成23年にエレベーターなどの設置基準が3000人以上に緩和されたことで整備が促進されました。

同事業は、身体の不自由な人や高齢者、ベビーカーを使用する子育て世代などに安全・安心に利用していただけるように国土交通省、静岡県、JR東海、函南町の4機関の連携で行われました。

渡線橋両端の駅舎側と上下線ホーム側にエレベーターを、改札入口後のエレベーター手前にベビーシートなどを兼ね備えた多機能トイレを設置し、3月24日に利用者や関係者などと完成を祝いました。

先人に感謝の気持ちを忘れず

今日、バリアフリー化事業が完成し、函南駅が利用しやすくなったのは、80年以上前のトンネル開通までの歴史・完成があったからではないでしょうか。丹那トンネルの貫通がまさしく函南町の幕開けだったのでないかと思えます。

当時、トンネル工事に関わった人は、12年間では約250万人と言われています。この250万人の尽力、67人の犠牲により、函南町の現在の繁栄が実現できたのだと思います。

これまでの80年以上前の先人の苦勞、今日を迎えるまでの歴史なくして現在はありません。

節目の年であるからこそ、先人への感謝の気持ち、便利になった現在について考え直してみたいかがでしょうか。

そして、忘れがちな身近な歴史を後世に引き継いでいってほしいと思います。

※参考文献：町勢要覧（マイタウン・かんのみ）、函南町誌、平井誌、上沢誌